

Educational Program: Citizens' Workshop

市民のアトリエ プログラム

2025.9－2026.3



📄 こんにちは！市民のアトリエです！

横浜美術館リニューアルオープンにともない2024年11月に活動再開した市民のアトリエを改めてご紹介します。

市民のアトリエは、アーティストや専門家とともに行うさまざまなプログラムなどを通して、参加する皆さんが創作を体験し、制作の実例に触れることにより、美術に親しみ興味を深めていただくことを目的とした場です。1989年の開館から多くの市民の皆さまにご利用いただき、今年で36年目を迎えます。

アトリエには3つの部屋「版画室」「平面室」「立体室」があります。おもに12歳以上の方を対象に、各室の特徴を活かしたプログラムをはじめ、展覧会に関連した企画などを行っています。このパンフレットに記載のプログラムの他にも教育機関や福祉施設などと連携し、地域に広がる活動にも取り組んでいます。

今回リニューアルオープンを迎えたアトリエは、一部設備の更新を行い、より明るく機能的な空間となりました。長い年月をかけて取り揃えてきた機材や道具類もメンテナンスを行い、快適に制作に取りくめる環境を整えております。これまでの活動に、新たな試みも交えてスタートする市民のアトリエのプログラムにどうぞ期待ください。



摺師（板津 悟さん）による版画室プレス機のメンテナンス



立体室の新設陶芸窯 試運転の様子

●横浜美術館の展覧会

【企画展】

横浜美術館リニューアルオープン記念展

佐藤雅彦展 新しい×（作り方＋分かり方）

2025年6月28日（土）－11月3日（月・祝）

休館日＝木曜日

『ピタゴラスイッチ』（NHK）などの教育番組、『パズールでござー（NEC）』『モルツ（サントリー）』をはじめとするTVCM、《計算の庭》に代表される身体表象をテーマにしたインタラクティブアート——。発表するコンテンツが都度話題を集め、長くメディアの世界を牽引してきた佐藤雅彦の創作活動を概観します。

《計算の庭》（桐山孝司との共作） 「六本木クロッシング2007」展示風景（森美術館、2007年）



【コレクション展】

戦後80年特集展示

「平和であることへの、控えめななにごとかを」ほか

2025年6月28日（土）－11月3日（月・祝）

休館日＝木曜日

戦後80年の節目にあたり、戦争と美術をテーマにした展覧会を開催します。また、休館中の新収蔵作品から、写真家・奈良原一高が横浜を撮影したシリーズ＜Blue Yokohama＞全点を初展示します。加えて、当館の「名品」を紹介するハイライトのコーナーをはじめて設けます。今回はダリ、セザンヌ、奈良美智の作品を紹介します。

北脇昇《眠れぬ夜のために》（習作）1937年



【企画展】

横浜美術館リニューアルオープン記念展

いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年

2025年12月6日（土）－2026年3月22日（日）

休館日＝木曜日、2025年12月29日（月）～2026年1月3日（土）

地理的にも文化的にも近い他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。私たちにとって、韓国の文化はますます身近なものになっています。そんな隣の国のことを、もっと知りたいと思いませんか。この展覧会では、アートを通して、知られざる2国間の歩みをたどります。



田中功起《可傷的な歴史（ロードムービー）》
2018年 個人蔵

【コレクション展】

子どもも、おとなも！

つくるわたしが、つくられる

2025年12月6日（土）－2026年3月22日（日）

休館日＝木曜日、2025年12月29日（月）～2026年1月3日（土）

自分ってだれなんだろう？その自分がものをつくるって、どういうことなのか？この展覧会では、そんな疑問について考えるきっかけとなる作品をご紹介します。

子どもにとって楽しい、おとなの入門編として楽しい、そして、子どもとおとながいっしょに見て楽しい、みんなのための展示です。

西野正将《New Generations》
2006年 寄託作品 撮影：甲野善一郎



市民のアトリエへようこそ

市民のアトリエには、版画室、平面室、立体室という充実した設備を持つ部屋があり、様々な創作活動を体験することができます。
12歳以上の方ならどなたでもお申込みいただけます。(一部プログラムをのぞく)

お申込みは
ウェブサイトから
詳しくは裏面をご覧ください

アートとふれあう

アーティストや専門家、当館エドゥケーターととりくむプログラムです。

市民のアトリエ体験ワークショップ—テラコッタとスクリーンプリント 18 19

● 桜庭 瑠実、木下 貴博、柳川 文秀、平松 朋子 (当館エドゥケーター)

市民のアトリエを施設見学と創作体験を通してご紹介するプログラムです。素焼きの焼き物であるテラコッタ制作とスクリーンプリントの刷り体験をします。テラコッタ制作では粘土で自由につくったオブジェをアトリエ内の陶芸窯で焼成します。版画の一技法であるスクリーンプリントでは、手描きの絵や文字を小さな布袋に刷ります。いくつもの機能を持つ市民のアトリエならではの楽しみ方をご提案します。

18 Cコース 11/30、12/21 ④ [2回] 締切11/13 19 Dコース 1/18、2/8 ④ [2回] 締切12/22

●各コース

時間=13:30-16:30 定員=16名(2名申込み可) 参加費=ひとり3,000円(材料費、焼成費込)



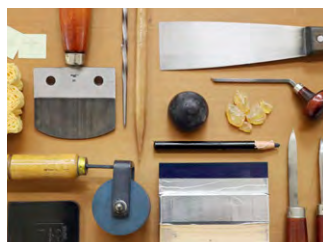
市民のアトリエ

版画体験コース 20 21

インストラクター

● 赤本 啓護 / 銅版画担当 ● 岩淵 華林 / スクリーンプリント担当
● 横尾 拓郎 / リトグラフ担当

市民のアトリエの版画室では、プレス機などの専門的な機材を使って銅版画やスクリーンプリント、リトグラフの制作ができます。このコースでは、いずれか一つの版種を選択して基礎的な工程を体験します。インストラクターは、版を用いた表現により作品を制作しているアーティスト。一緒に体験をしながら版画の見方や考え方に触れてみてください。



20 Aコース 9/27、10/4・11・18・25 ④ [5回] 締切9/8

21 Bコース 1/24・31、2/7・14・21 ④ [5回] 締切1/5

●各コース

時間=10:10-12:30

定員=銅版画6名、スクリーンプリント4名、リトグラフ3名

参加費=15,000円(材料費込)

知るともっと楽しい! 版画シリーズ① 銅版画×道具の関係 22

● 渡辺 達正 (版画家)
● 崔 恩知 (版画家)

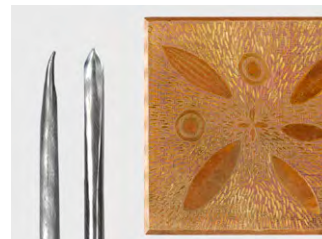
版画ができあがる過程には、もともになる版と様々な道具や材料が関わっています。中でも道具は、表現を支える大事な存在とも言えます。このプログラムでは、銅版画の道具に注目し銅版画技法「メゾチント」の制作体験を通して、その特性や使い方を学びます。講師オリジナルの道具の他、当館所蔵資料である版画家・長谷川潔旧蔵品もご紹介します。

※あらかじめ目立てた銅版を使います。

日程=10/12・26、11/9・16 ④ [4回] 締切9/22

時間=13:30-16:00 定員=14名

参加費=15,000円(材料費込)

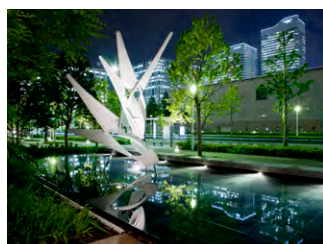


版と道具

野外彫刻の鑑賞と創作体験 細井篤《風が、かたる…》 23

● 細井 篤 (彫刻家)

みなとみらい21地区、横浜美術館に隣接するみなとみらいグランドセントラルタワーに設置されている野外彫刻《風が、かたる…》の作者である細井篤さんを講師に招き、現地で実作品を鑑賞しながら作品のコンセプトや制作の過程について、お話を伺います。その後、市民のアトリエ立体室で、野外彫刻のためのマケットなどを参考に、金属(真鍮)等で小さな彫刻をつくります。鑑賞と創作を通して新たな意識で空間を観てみませんか。



細井篤《風が、かたる…》制作年2011年、ビルオープン2012年
FRP・ステンレス、H387×W365,5×D313,3cm
撮影:末正真礼生

日程=10/19 ④ [1回] 締切10/2

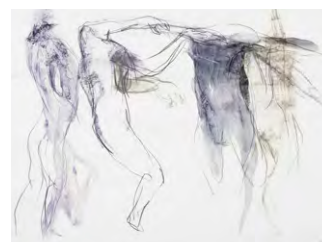
時間=13:30-17:00 定員=12名

参加費=6,500円(材料費込)

動くひとを描く—日本画の画材でドローイング 24

● 内田 あぐり (画家)

墨や日本画の画材を使って、ゆっくりと動く人を刷毛や筆で自由に描いてみましょう。前半は日本画の道具や技法に関するレクチャーとウォーミングアップ。後半は舞踏家の大竹有燕さんをモデルとしてお迎えし、音楽にあわせて舞う身体の動きを描いていきます。絵を描くことに慣れていない方、固定ポーズのクロッキーに物足りなさを感じている方など、どなたでもご参加いただけるプログラムです。
画材協力:株式会社岩野三郎製紙所(雲肌麻紙提供)、大崎商店(膠提供)



内田あぐり《drawing》2000年
鉛筆・水彩絵具・墨・コンテ・鳥の子紙
54.0×79.0cm
©Ali Uchida

日程=11/22日 ④ [1回] 締切10/28

時間=10:30-16:30(昼休1h) 定員=15名

参加費=6,000円(材料費込)

ゆっくりじっくり描く時間

— 静物デッサンと人体クロッキー 25

● 柳川 文秀 (当館エデュケーター)

「観察して描く」という体験を通して、新しい発見と集中する楽しさを味わってみませんか。果物、野菜、人体などをじっくり見つめて描いてみます。普段見慣れているものでも視点を変えてみると色々な驚きと出会えるはず。描くための紙や画材はこちらでご用意します。簡単なレクチャーやサポートもありますので、初めての方も安心してご参加ください。



制作風景 (イメージ)

日程＝11/29、12/6 ㊥ [2回] 締切11/6
時間＝13:30-16:00 定員＝15名
参加費＝6,000円 (材料費込)

「こどもの国」のイサム・ノグチを訪ねて

— その歴史と現在 26

● 中村 尚明 (当館主任学芸員)

2025年に開園60周年を迎えた「こどもの国」(横浜市青葉区)には、イサム・ノグチがデザインした「児童遊園」の一部が残っています。元はどのような児童遊園だったのでしょうか？初日は横浜美術館でノグチが建築家大谷幸夫と作ったオリジナルの石膏模型と図面を見ながらその歴史を辿ります。二日目は「こどもの国」の現地でノグチのデザインの要素を探索し、その意義を参加者で語り合います。



石膏模型《こどもの国A地区児童館・児童遊園》
(1/300・デザイン：イサム・ノグチ、大谷幸夫
1965年)

日程＝1日目 1/25㊥、2日目 2/15㊥、予備日 2/22㊥ [2回] 締切1/11
時間＝10:00-12:00 定員＝12名 (2名申込み可)
参加費＝ひとり1,000円
(別途、こどもの国入園料と現地までの交通費は各自ご負担ください)

ピューターによる蠟型鑄造体験 27

● 木下 貴博、平松 朋子 (当館エデュケーター)

錫を主成分とする合金ピューターで重さ200g以内、大きさ直径6cm×長さ8cm以内の小さな立体作品をつくりましょう。最初に、蠟で原型制作、耐火石膏で型を作ります。次に型を焼き脱蠟し、鑄型にピューターを溶かして流し込み、割り出して仕上げます。横浜美術館には、蠟型鑄造でできた様々なブロンズ彫刻が展示されています。今回は、融点の低いピューターを使用して、蠟型鑄造の過程と原理を楽しむながら学びます。



割り出し (イメージ)

日程＝1/31、2/7 ㊥ [2回] 締切1/16
時間＝13:30-16:00 定員＝10名
参加費＝6,000円 (材料費込)

フュージング (ガラス技法) 体験と鑑賞 28

● 片岡 操 (ガラス工芸作家)

色ガラスの破片等を組み合わせ、炉で熔着するフュージングというガラスの技法でブローチとネックレスの2つのアクセサリーを創作します。ガラス作品は、自然光 (太陽や月など) や人工光 (電球、蛍光灯、LEDなど) の透過、反射、吸収により表情が変化します。今回は創作体験と、ギャラリー9で展示中のガラス作品を鑑賞し、さまざまな技法やその特徴を学びながら、ガラスの魅力に触れます。



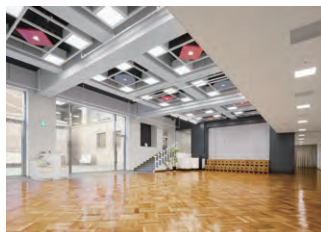
制作イメージ

日程＝2/14・21 ㊥ [2回] 締切1/29
時間＝14:00-16:00 定員＝12名
参加費＝7,500円 (材料費込)

予告 今年も開催！ぐるりアトリエ見学会

横浜美術館には市民のアトリエとともに、小学校6年生までの子どもたちを対象とした子どものアトリエがあります。どちらの施設も普段はプログラムに参加する人しか中に入ることができません。そこで、両アトリエを公開する特別なイベント「ぐるりアトリエ見学会」を昨年にひきつづき今年も11/2㊥・3月㊥に開催します！ぜひご来場ください。

／ 子どものアトリエも見学できます ／



撮影：新津保建秀

予告 ツヴィリンゲの紙しごとから フレーベルの星かざり

● 森住 香 (装飾紙作家)

紙にまつわる手仕事を続ける作家ユニット・ツヴィリンゲ (Zwillinge) の森住香さんによるワークショップを12月に開催します。「フレーベルの星」は、細長い紙を織り込むようにしてつくる折り紙です。ツヴィリンゲがセレクトした紙を使って、ゆっくり手を動かす時間を一緒に楽しみませんか？



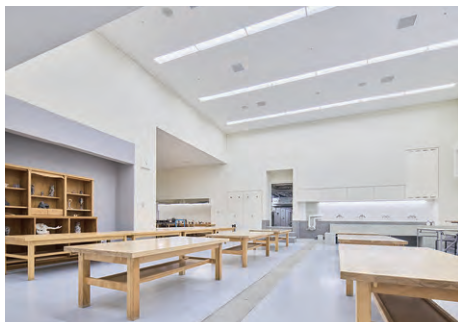
どちらもお友達やご家族、またお一人でもご参加いただけるプログラムです。
詳細は横浜美術館ウェブサイトにてご案内いたします。

オープンスタジオ

オープンスタジオは、参加するみなさんが自主的に制作にとりくむ時間です。
各室でインストラクターやエドゥケーターなどスタッフが制作をサポートします。

オープンスタジオ立体室 29 30

● 木下 貴博、平松 朋子（当館エドゥケーター）



撮影：新津保建秀

粘土で制作して美術館の窯で素焼きをするテラコッタと、木を素材とする立体制作をする木彫の2種類のコースがあります。

「テラコッタCコース」はテラコッタ用粘土10kg、「木彫Cコース」は楠10×10×20cmを材料に立体室の道具を使用して制作ができます。制作中の作品は、コース終了時まで立体室でお預かりします。基本的に自主制作ですが、初めての方や慣れていない方は、道具の使用、制作内容について担当エドゥケーターに相談しながら制作できます。

《テラコッタ》

29 Cコース 10/4・18・25、11/8・15、12/13 ⊕ [6回] 締切9/18

《木彫》

30 Cコース 12/23、1/13・27、2/10・24、3/10・24 ⊗ [7回] 締切12/8

●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝テラコッタCコース12,000円（材料費、焼成費込）／木彫Cコース14,000円（材料費込）

オープンスタジオ平面室 31 32 33 34

● 柳川 文秀、平松 朋子（当館エドゥケーター） ● 安原 千夏（市民のアトリエ アシスタント）



撮影：新津保建秀

美術モデルを依頼して人体を描くコースと静物を描く2種類のコースがあります。どちらのコースも指導はありませんが、初めての方や慣れていない方は、スタッフにご相談ください。カルトン（画板）とイーゼルはお貸しします。紙と画材類は各自でお好きなものをお持ちください。（ただし油絵具は使えません。）

「人体クロッキー」は、美術モデルを依頼して人体を描く時間です。5分、10分、20分などポーズ時間を変えて描きます。「静物デッサン」は、さまざまな形や質感のモチーフを組み合わせた静物をじっくり観察して描く時間です。

《人体クロッキー》

31 Cコース（着衣） 10/11・18 ⊕ [2回] 締切9/18

32 Dコース（着衣） 2/10・17・24、3/3 ⊗ [4回] 締切1/19

●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝16名
参加費＝Cコース 4,000円／Dコース 8,000円

《静物デッサン》

33 Cコース 9/20、9/27 ⊕ [2回] 締切9/1

34 Dコース 1/25、2/1 ⊗ [2回] 締切1/8

●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝3,600円

オープンスタジオ版画室 35 36 37

インストラクター

● 赤本 啓護／銅版画担当 ● 岩渕 華林／スクリーンプリント担当 ● 横尾 拓郎／リトグラフ担当
● 桜庭 瑠実（当館エドゥケーター） ● 安原 千夏（市民のアトリエ アシスタント）



撮影：新津保建秀

版画室の各種プレス機や刷り台を使って版画の制作を行うことのできる時間です。自分一人でも機材を取り扱える方を対象とします。制作についての不安な点は、インストラクターやエドゥケーターにご相談いただけます。ご参加は一日単位となります。ご自身の制作ペースにあわせて希望日を選択の上、お申し込みください。また、予約がとれない場合は、キャンセル待ち予約をご利用ください。

※機材の取扱い未経験の方は、「版画体験コース」に参加してからお申し込みください。

● 期間 35 第2期＝9/10～10/25の毎週水、土曜日 締切8/21

36 第3期＝11/12～12/20の毎週水、土曜日（12/6は休み） 締切10/6

37 第4期＝1/14～3/21の毎週水、土曜日（2/11,28は休み） 締切12/8

● 時間 水曜日10:10-16:30／土曜日14:00-16:30

● 定員 銅版画プレス機＝6名／スクリーンプリント刷り台＝4名
リトグラフプレス機＝3名／木版プレス機＝1名

● 参加費 [水] 3,000円／[土] 2,000円
※版や紙、フィルムは各自でご用意ください。

講師・アーティストの紹介

● 赤本 啓護 あかもと・けいご

1985年 東京都生まれ。2013年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻版画コース修了。'16～'19 年度 同大学版画研究室助手。自然と都市あるいは生活と環境といった視点をテーマに、銅版、デジタルを組み合わせる平面作品を制作、発表している。

● 岩淵 華林 いわぶち・かりん

神奈川県生まれ。2011年 東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域修士課程修了。ギャラリー椿、Der-HorngArtGallery での個展など、国内外でスクリーンプリントを用いた平面作品を発表。現在、東京造形大学、女子美術大学非常勤講師。
<http://www.iwabuchikarin.com>

● 内田 あぐり うちだ・あぐり

1949年 東京都生まれ。'75年 武蔵野美術大学大学院修了、創画展で創画会賞受賞。'93年 文化庁在外研修員として渡仏、山種美術館賞展で大賞受賞。'99年 現代日本絵画の展望展でステーションギャラリー賞受賞。2002年 第1回山魁夷記念 日経日本画大賞受賞。'03～'04年 武蔵野美術大学在外研修員として渡米。'19年 神奈川文化賞受賞。'21年 JAPA天心賞で大賞受賞。その他、各地で展覧会や日本画のワークショップを多数開催。

● 片岡 操 かたおか・みさお

1991年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業、'94年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了、'96年 東京ガラス工芸研究所卒業、'97～'98年 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻後期博士課程研究生、2007～'09年 国立台湾藝術大学工芸設計学系 客員准教授、'07～'08年 国立台北教育大学美術学系 非常勤講師、'16年 工芸協会展覧会（ルーヴル美術館別館/フランス）など。

● 崔 恩知 ちえ・うんじ

1979年 韓国ソウル生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻版画研究領域博士前期課程修了。2015年 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ美術館賞受賞。日本美術家連盟会員。自然と宇宙の空間をテーマに、人々の人生を、自然現象を通して表現している。
https://www.instagram.com/eunji_artworks

● 細井 篤 ほそい・あつし

1963年 長野県生まれ。'88年 武蔵野美術大学大学院修了。'95年 視ることのアレゴリー1995絵画・彫刻の現在（セゾン美術館/東京）、2000年 Atsushi Hosoi & Song Dong 展（ガスワークス/ロンドン）、'01年 亜細亜散歩 Beijing-Seoul-Taipei-Tokyo（資生堂ギャラリー/東京）、'02年 個展（レッドミルギャラリーバーモントスタジオセンター/アメリカ）、'22年 国際芸術祭 BIWAKOビエンナーレ2022（彦根城/滋賀）など。

● 横尾 拓郎 よこお・たくろう

1986年 千葉県生まれ。2019年 メルボルン大学Victorian College of the Arts 版画・ドローイングコースBFA卒業。'24年より東京藝術大学版画研究室リトグラフィテクニカルインストラクター。版画的な平面表現・インスタレーションを通して身体と場所、記憶、言語について考え、世界の中の距離や区切りについて痕跡を通して観察し、反復運動を用いて隠れたイメージを表出させることを試みている。
<https://www.takuart.net>

● 渡辺 達正 わたなべ・たつまさ

1947年 愛知県生まれ。'70年 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。在学中、駒井哲郎指導のもと銅版画制作を始める。卒業後、同大学に勤務し1997年版画専攻教授に就任する。銅版画の多様な素材と技法を研究し、日本を代表する版画家の一人として様々な技法開発や版画教育に尽力している。現在、多摩美術大学名誉教授、春陽会会員、日本美術家連盟会員。

申込方法

ウェブサイトの各プログラムの
「申込フォーム」からお申込みください。

- ◎応募者多数の場合は抽選となります。
- ◎一部のプログラムを除き、対象年齢は12歳以上です。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



● 申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」（自動返信）をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。

※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

● お問い合わせ

横浜美術館 市民のアトリエ

Tel. 045-221-0300

受付時間 10:00～18:00

木曜日休館（12/29～1/3 休館）

〒220-0012

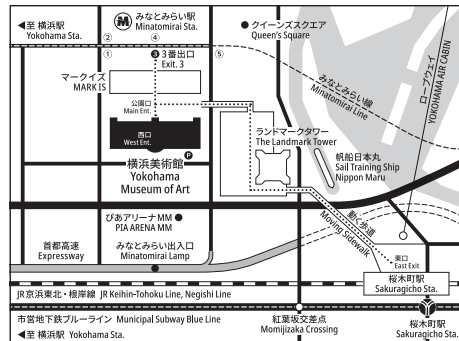
横浜市区西みなとみらい3-4-1

● アクセス

- みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅（3番出口）から、マークイズみなとみらい（グランドギャラリー）経由徒歩3分
 - JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から（動く歩道）を利用、徒歩10分
 - 駐車場（10:00～21:00、台数157台）最初の90分は500円、以降30分毎に250円
- ※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。
※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引（最初の90分無料）があります。

● 乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

● 横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

